

## 平成28年度 第1回 峡南地域保健医療推進委員会議事録

日 時 平成28年6月21日（火） 16:30～18:00  
場 所 南巨摩合同庁舎 3階大会議室  
出席者 委員 出席18名 代理1名 計19名  
各町福祉保健関係課長 6名  
事務局 峡南保健福祉事務所10名

### 【概 要】

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 峡南保健福祉事務所長あいさつ
- 4 会長選任
- 5 会長あいさつ
- 6 役員の氏名
- 7 議 事
  - 1) 病院群輪番制病院運営事業について
    - ア 平成27年度事業報告・決算報告について  
事務局から資料1-1により説明  
加藤監事から会計監査報告  
(質問、意見なし)

- イ 病院群輪番制病院運営事業に係る委託料の見直しについて  
事務局から資料1-2により説明

#### ○志村委員（富士川町長） 「内税方式の導入時期について」

委託料単価について、税抜き単価37,472円が適切な額だとすれば、消費税を3%、5%、8%上乗せしていくのが当然のことだと思うが、なぜ平成29年度からしなければならないのか。今年このような状況がわかったのであれば、今年度まだ間に合うと思う。税金は国民の義務で納めなければならないものであるのに、県が主導しながら今年1年を見送ることについて、県医師会は何と言っているのか。

#### 事務局

ご指摘のとおりだと思うが、県医師会にはご了承いただいていると医務課から聞いている。また、中北地域や富士東部地域における保健医療推進委員会が今後開催される予定であり、同様の議案が提出され承認を受けられると思われる。このような状況の中で、県内そろって行うことができるのが平成29年度からとなるのではないかとということで、医務課からの提案として挙げさせていただいている。

○志村委員（富士川町長）

峡南だけが平成28年度から外税方式を導入した単価に上げるという訳にはいかないということか。

事務局

そういうことになる。またこの他に、町と地区医師会とで契約している在宅当番医制度についても、病院群輪番制と同様の委託単価で契約しているため、これについても今後相互で協議が必要になると思われる。

○志村委員（富士川町長）

峡南地域は医師も非常に努力してやってくれている。医師が少なく、高齢化が進んでいる中で、一所懸命やっただけの状態なので、適正な価格で払うべきだと思う。県で横並びみたいなことをしているから、対応が遅れてくるのであって、もっと早くに行えば良かったと思う。県医師会が良いと言っているのであれば良いが、早く直せるのであれば早くやった方が良く思う。

事務局

志村委員のおっしゃるとおりだと思うが、ご説明したとおり、平成27年度に県医師会として各圏域一体的に要望された経緯があるため、各保健所の動向も見ながら、同じ歩調で進めていく予定である。

2) 山梨県地域保健医療計画に基づく「峡南医療圏域アクションプラン」について

事務局から、資料2により説明

3) 平成28年度 峡南保健福祉事務所の重点事業等について

事務局から、資料3により説明

○小林委員（富士川病院長） 「災害時の医療救護所設置等について」

重点事業の災害時の体制について、昨年度の訓練の救護所設置に関わらせてもらったが、各市町村で、救護所を設置する場所がまだしっかりと想定されていないところがある様子。少なくともどこに設置するかのプランは建てておく方が良いのではないかと。また、救護所は医療関係者が入ってくるべきだと思うが、どうにかたちで入ってくるかという事がまだしっかりとしていないところがあり、医療救護所であるのに医療関係者がいない状況となるのが心配。医師が少ないという状況ではあるが、医師については医師会と連携を図り、看護師については資格を持っているが事情があり働いていないというような方を登録したり、さらに、歯科医師の先生や薬剤師との連携も大事だと思うので、救護所の設置と併せて早めに対応していただきたい。

## 事務局

昨年度は福祉保健部の情報伝達訓練において、市川三郷町の旧六郷で医療救護所の設置訓練及び富士川病院のDMAT隊によるトリアージ訓練を行った。今年度も計画しているが、訓練を実施する中で、関係機関による事後評価と課題の検証、また、地域との連携体制も強化し、より実践的な体制整備を進めたいと思っているので、各町、医療機関とも相談しながら検討させていただく。

## 4) 峡南地域在宅療養者支援のための多職種連絡会議（専門委員会）について

事務局から、資料4により説明

(実施要領の改正について承認と委員指名)  
(その他、質問、意見なし)

## 5) その他

### ○小林委員（富士川病院）「定期予防接種の委託料等について」

先ほど、救急の委託料の消費税改定に伴う対応についてお話があったが、各町と病院で契約して行っている定期予防接種の委託料についても、消費税が5%から8%に上がった際に、委託料が上がっている町もあれば、上がらなかった町もある。医療機関は内税方式で致し方ないと思っていたが、今後さらに消費税が上がっていくと、かなり差が出てきてしまう。各町においては、定期予防接種の委託料についても、その点についても考慮していただけるとありがたい。

また、去年はインフルエンザ予防接種に使うワクチンが、3価から4価になり価格がだいぶ上がってしまい、実際にどのくらい（の価格）で接種するのかについて、様々なご意見があったようだが、高齢者や子どもに接種する予防接種でもあるので、ワクチンの価格変動への対応についても考慮して頂けるとありがたい。

### 志村委員（富士川町長）

町ではいろいろな補助制度があるが、町ごと制度はばらばらなところもある。これは、一律に行うことというよりも、それぞれの町の事情により、どんなものを中心に住民にサービスしていくかということだと思う。

インフルエンザ予防接種の例もでしたが、去年は、接種医療機関によって単価がまちまちであったり、料金が高いなどの苦情が町に寄せられたこともあったが、インフルエンザ予防接種であるので、それぞれの医療機関で（額を）決めていただき、それぞれの町でどれほど補助ができるかは、各町の財政力にもよるため、一律にというのは難しいが、子供達も少ない地域ですから、各町でできる限りのことはしていきたいと思うが、同じ金額で一律にすることは今の段階では難しいと思っている。

○佐野委員（歯科医師会長） 「歯科医師会の夜間救急対応と、  
病院郡輪番救急委託料の額について」

歯科でも救急対応を行っているが、峡南地区は厳しい立場にあり、休日・平日の夜間救急の輪番制は峡南地区については来年度からなくし、甲府市と郡内の2局でやっていくこととなった。

病院の輪番制の委託料単価4万円弱という額は、少なく驚いている。歯科の方はこれより安いのが現状だが、歯科医は日本中余って困っている状態でやむを得ないと思うが、医科、特に峡南地区は状況が違う。先ほど町長が懸念していたような、県内の他の地域と横並びという対応で良い、やむを得ないと思われているとしたら、特に若い先生にとっては、ますます魅力のない地域になってしまうのではないかと。今後若い人が住んでみたいと思うような地域にするために、この額で先生方に当直をしていただいて、次の日も働くという環境が良いのかどうかということも踏まえ考えていただきたい。町からの費用負担だけでなく、県から補助についても検討いただければと思う。

○事務局の高野健康支援課長から

「峡南生涯健康づくりプロジェクト」の活動報告（紹介）

保健所で支援を行っている、「峡南生涯健康づくりプロジェクト」の活動についてご紹介する。

平成25年から、管内5町の保健師や栄養士が、介護・医療費の分析や健康診断結果等をもとに、峡南地域の健康課題について話し合ってきた。

峡南地区は糖尿病の方が多いという分析結果であり、峡南地区の糖尿病患者の割合は突出しており、糖尿病や代謝系の病気で介護保険を申請する方がいる状況である。このような状況の中で、子供の頃からすべてのライフサイクルに渡って自分の体を大切にしていきいきと生きるための取り組みを行っており、昨年度（資料最終ページの）チラシを作製したので紹介する。今年度は、住民検診の結果説明会や乳幼児検診等の場でこのチラシを活用し普及啓発を行っていく。

8 その他  
（意見等なし）

9 閉 会